

保存科学研究集会 2015
「出土木製遺物の保存に関する最近の動向」

平成 28 年 1 月 22 日(金)
京都大学 宇治キャンパス 木質ホール

プログラム

1月22日(金)

9:30～ 受付開始
10:00 開会

基調講演

10:10～10:50 「出土木製遺物の保存の現状と課題」 高妻洋成
(奈良文化財研究所)

特別講演

10:55～11:35 「長崎県鷹島海底遺跡における
元寇船の調査」 池田榮史
(琉球大学)

研究発表

11:35～12:10 柳田明進
「木製遺物が出土する遺跡の
埋蔵環境に関する検討」 (奈良県立橿原考古学研究所)
脇谷草一郎
(奈良文化財研究所)

12:10～13:00 昼休み
13:00～13:50 ポスターセッション

研究発表

13:50～14:25 「水浸出土木製遺物の劣化を抑制する
一時保管環境の検討」 松田和貴
(京都大学)
14:25～15:00 「トレハロース含浸処理法の
現状と今後の展開」 伊藤幸司
(大阪文化財研究所)
15:00～15:35 「文化財の収蔵・展示環境」 宇田川滋正
(文化庁)

15:35～16:00 休憩

総合討議

16:00～16:50 総合討議・質疑応答
16:50 閉会